



生徒会役員選挙(新三役決まる)



10月16日(金)に生徒会役員立候補者立ち会い演説会および投票が行われ、以下の5名の皆さんが、新三役として当選(信任)しました。これから1年間全校生徒のリーダーとして学校を牽引して行ってほしいと思います。

会 副 副 書	長 会 長 記	遠 藤 伊 佐 吉 高	原	* * * * *	* * * * *	さ ん さん さん さん さん
------------------	------------------	----------------------------	---	-----------------------	-----------------------	--------------------------------



なお、投票では、18歳から与えられる選挙権を実際に行使する場面をイメージしてもらうため、市選挙管理委員会からお借りした本物の投票箱を使用し、一票を投じました。生徒たちは、一票一票が社会や地域の未来を形づくる大切な意思表示であることを体験的に学び、将来有権者として責任ある判断と行動



投票の様子



が求められることへの理解を深める機会となりました。

避難訓練(火災想定)

10月19日(月)6校時終了後に火災想定避難訓練が行われました。今回の避難訓練は時刻を生徒に伝えずに実施しました。3階の調理室から出火したとの想定で、避難しました。ちょうど清掃の時間帯での避難でしたので、「自分で安全を確保するための適切な方法を考えて避難する」ことをねらいの一つにして実施しました。当日は雨が降ったために、急遽体育館を避難場所にして避難しましたが、ハンカチを口や鼻に当てたり低い姿勢をとるなどして無事避難ができました。

その後、避難訓練に立ち会っていただいた由利本荘市消防署大内分署の4名の署員を代表して主任の佐々木 * 様より、講評をいただきました。ありがとうございました。

その中で、改めて「おかしも」の4つの原則である、

- ・ **お** : **おさない** (避難するときに、前や周りの人を押さない)
- ・ **か** : **かけない** (慌てて走らず、落ち着いて行動する)
- ・ **し** : **しゃべらない** (無駄なおしゃべりをせず、先生や誘導する人の指示を聞く)
- ・ **も** : **もどらない** (忘れ物や落とし物があっても、危険な建物や場所へ戻らない)

を守ることを確認しました。

特に「もどらない」に関しては、7月28日の熊本地震の際のショッピングモールで地震の約1時間20分後に発生した爆発事故を例に、忘れ物や落とし物があっても、危険な建物や場所へは絶対にもどらないことを強調しておられました。しっかりと心に留め、いつどんなときでも冷静に避難行動が取れるようにしたいものです。



避難訓練の様子



2年生YURI-MARI Be PROJECTボッチャ体験会



講師の齊藤さんと小林さん

10月16日（金）1, 2校時にYURI-MARI Be PROJECT代表の齊藤 ** さんとメンバーの小林 * さんを講師に招き、YURI-MARI Be PROJECTボッチャ体験会が行われました。

これは、今月下旬に県立ゆり支援学校中学部2年生との学校間交流でボッチャを行うこととなり、その競技方法について事前に学ぶことを目的として実施されたものです。

齊藤さんは10月11日（日）に行われた第28回日本ボッチャ選手権大会北海道・東北ブロック予選会のBC2男子の部で1位となり、来年1月の全日本選手権への出場権を獲得したそうです。また、小林さんは本校の第1期生とのことでした。また、当日は市企画振興部地域づくり振興課の職員の皆様にもご協力いただきました。



ボッチャ体験会の様子

会では、はじめに齊藤さんからボッチャについて由来とルールの説明を受けました。その後、コートを使ってボールを転がす練習を

行い、最後にミニゲーム形式で実戦練習を行いました。

ジャックボール（白い目標球）に自分のチームのボールが近付くと大きな歓声が上がりました。このスポーツの面白さを感じることでできた時間となりました。ありがとうございました。



2年生障害理解学習



10月20日（火）5, 6校時2年生を対象に「障害理解学習」が行われ、県立ゆり支援学校の高橋 ** 先生、渋谷 ** 先生をお迎えして、講話と体験を行いました。これは、10月26日（月）のゆり支援学校中学部2年生との学校間交流に向けて、参加者へ関わる際のポイントを知り、交流に生かすことを目標としたものです。

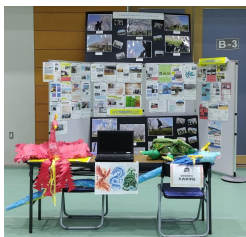
講話では、地域には様々な人々（年齢、性別、国籍、健常者、障害者…など）がお互いに支え合って住んでいること、様々な人々と自分たちとの共通点を見付けることで交流ができること、安心・うれしいポイントを意識して活動するとコミュニケーションがとれることを教わりました。その後、ボッチャを当日の特別ルールに合わせて体験し、安心・うれしいポイントを意識して互いにコミュニケーションをとりながらプレーしてみました。最後に、高橋先生から、このようなコミュニケーションの取り方はすべての人に通じる方法であり、日常生活にも生かしてほしいというお話をいただきました。ありがとうございました。



障害理解学習の様子



おうち秋まつりでブース展示とボランティア



10月18日（日）に由利本荘市総合体育館で「おうち秋まつりクリエイティブオクトーバー」が初開催されました。実行委員会よりブース展示と生徒のボランティア活動の提案があり、ブースは「わたしたちは地域の元気クリエイター！」というテーマで、作成したポスターや写真、運動会のマスコットの展示、活動の様子の動画公開を行いました。また、ボランティアには2年生7名が本部の受付、館内の清掃、撤収作業に参加し、感謝のお言葉をいただきました。学校ではこれからも地域の元気創出をテーマに活動を推進したいと考えております。



おうち秋まつりの様子